

## 本部会議での主な発言要旨

キーワード	発言内容	発言者
リニア中央新幹線開通をにらんだ都市機能強化	（「世界と闘える愛知・名古屋の実現」に向けた課題の中に）「 <b>リニア開通を機とした魅力あるまちづくり</b> 」（がある。）都市魅力の創出や乗換えの利便性の向上など課題があるが、特定都市再生緊急整備地域制度を活用し、 <b>思い切った再開発</b> 等を推進すべきである。（第1回本部会議）	木村本部員
	リニア中央新幹線については、東京－名古屋間が40分でもつながつても、名古屋から <b>豊田まで1時間もかかるようでは、リニア開業の強みは活かせない</b> 。（第3回本部会議）	奥野本部員
	リニア中央新幹線の開業（について、）東京と名古屋が時間的には地下鉄の移動圏になってしまったときに、 <b>どういう機能をどう配置するか、中部圏がどういう情報を発信</b> できるか、議論しなければならない。（第4回本部会議）	奥野本部員
陸・海・空のインフラ整備	（「世界と闘える愛知・名古屋の実現」に向けた課題の中に）「 <b>インフラ等の事業環境の整備促進</b> 」（がある。）陸・海・空のインフラ整備など事業環境の整備促進は、地元企業の成長はもとより、 <b>国内外の企業の進出メリット増加</b> に大きく寄与する。（第1回本部会議）	木村本部員
	<b>陸・海・空のインフラ整備は、当地域はまだ不足</b> しているので道路を含めしっかり取り組んでほしい。（第2回本部会議）	小澤本部員
	中京都構想での人口の設定は400万人になっているが、他の大都市圏と比較して <b>都市機能の集積度が低い</b> 。世界と闘える大都市圏になるためには、空港や公共交通機関のインフラ整備がまだまだ不十分だと思う。（第4回本部会議）	鶴田本部員
	中部国際空港に <b>二本目の滑走路を整備</b> して、国内線・国際線の増便を図ることは必須だと思う。（第2回本部会議）	鶴田本部員
	リニアが完成すれば、日本の真ん中にある中京から、東京へも大阪へも、代表的な観光地である京都・奈良へも1時間以内で行ける。どう考えても <b>中京が国際ハブ空港の一番の適地</b> 。中京が日本のハブ空港になればいいし、なる条件は整っている。（第2回本部会議）	井沢本部員
	大都市圏は、必ずしも災害に強くはないため、 <b>関西国際空港と中部国際空港が同時被災することを想定</b> し、また、この地域が被災し <b>東西の分断が起きないために、空港機能を強化</b> しなければならない。（第4回本部会議）	奥野本部員
その他都市基盤強化	名駅地区から栄地区、さらには名古屋城など周辺部も含めた地域の一体開発による、 <b>面的な広がりや回遊性のある都心づくり</b> が必要である。（第2回本部会議）	木村本部員
	名古屋市と近郊都市が <b>連携して都市機能を分担し、都市圏を拡大</b> しながら、若者にとって <b>住みやすい地域</b> にしていくことが活力ある中京都構想の実現への一歩であると考え。（第3回本部会議）	鶴田本部員
防災	東京や大阪と比べると、 <b>名古屋は非常に強い地盤の上</b> にある。この地域の特徴を活かして、 <b>強い社会システム、インフラ</b> により、 <b>防災に強い名古屋・愛知</b> をつくりあげていくことを戦略的に議論していただきたい。（第1回本部会議）	濱口本部員
	<b>首都圏のバックアップ機能</b> を担うべき地域であるため、真剣に取り組み、情報発信をしなければならない。（第4回本部会議）	奥野本部員